

第 9 回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 8 年 9 月 16 日（水曜）			午後 3 時 45 分 開会	
	休 憩 16:01-16:02				
	午後 4 時 3 分 閉会				
	休憩時間：0 時間 1 分			会議時間：0 時間 17 分	
会 議 場 所	3 階委員会室				
出 席 委 員 氏 名	委員長 立川 美穂	委 員 渡辺洋一郎			
	副委員長 中村 和宏	委 員 中田智恵子			
	委 員 西尾 一則	委 員 小笠原 等			
	委 員 常通 直人		議 長 梶澤 幸治		
説 明 員	生涯学習課長	江崎 健一	都市経営課長	橋本 直樹	
	社会教育係長	中島 華子	課長補佐	佐藤 史彦	
	社会教育係主査	大橋 毅			
	スポーツ振興係長	梅森 祐之			
参 考 人					
欠 席 委 員 氏 名	委 員 橋本 和仁				
事務局職員	事務局長 石田 哲	総務係長 竹川 恭史			
『会議に付した事件と会議結果など』					
1 開 会					
・委員長が開会を告げ、橋本和仁委員の欠席を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。					
2 議 件					
(1) 調査事項					
ア 令和 7 年度指定管理者評価結果（中央公民館・社会体育施設等）について					
資料 1-1、1-2					
・生涯学習課長：事業概要説明。「資料 1－1（芽室町中央公民館）」の説明（「評価方法」「評価の考え方」「評価委員」「委員会開催経過」「評価結果」等）。「資料 1－2（社会体育施設等）」の説明（「評価方法」「評価の考え方」「評価委員」「委員会開催経過」「評価結果」等）。					
・委員長：「資料 1－1（芽室町中央公民館）」の評価結果について、意見・質疑はないか？					
・西尾委員：評価点は過去 5 年間で最も高い 3.57 点となっている。評価が上昇した要因を伺う。					
・都市経営課長補佐：評価点は評価委員 6 人の平均点である。指定管理者から報告された事業実績などを確認し、各委員が前年度よりも良好に業務を行っている判断し					

た結果である。

- ・中村委員：文化講演などのチケット販売について、指定管理者と主催者からの申出に基づいて取り扱うという従来の方法に変更はないか。
- ・生涯学習課長：取扱いとは従来から変更していない。
- ・中田委員：利用者アンケートでは、60 歳代以上が 69%、サークル活動での利用が 72% を占めており、利用者の固定化や高齢化が課題と考える。若者や子育て世代など、新たな利用者を増やすため、指定管理者にどのような取組を求めているのか。
- ・生涯学習課長：日常的に利用する固定層が多いため、新たな利用者の掘り起こしは重要と考えている。様々な催しの企画に加え、6 月から授乳室を利用できるようにするなど、利用者のニーズに応える取組を進めている。今後も指定管理者と協議し、利用者の増加につなげたい。
- ・常通委員：避難訓練の参加者 14 人及び 12 人には、訓練時に施設を利用していた一般市民も含まれているのか。
- ・生涯学習課長：法令に基づき年 2 回実施している避難訓練であり、当日来館していた一般利用者にも協力いただき、実践的な形で行っている。
- ・中村委員：社会教育施設として、子供から高齢者まで幅広い世代が学べる講座や講演会を開催するとしている。世代間交流につながる講座などの実績はあるか。
- ・生涯学習課長：親子でのパン作りなどは実施しているが、高齢者を含む世代間交流の取組は十分とはいえない。他の事業では柏樹学園の参加者が通園する例もあるため、今後、公民館講座でも世代間交流を取り入れられないか検討する。
- ・委員長：他にないか。
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、「資料 1－1（芽室町中央公民館）」の評価結果の調査を終了する。
- ・委員長：次に「資料 1－2」について、質疑はないか？
- ・渡辺委員：トレーニングルームの利用者が大きく増加している。町はその要因をどのように分析し、指定管理者の事業成果をどのように評価しているのか。
- ・生涯学習課長：令和 5 年 7 月の開設以降、トレーニング器具や利用環境への高い評価が口コミなどで広がり、町外からも多くの利用者が訪れていることが要因と考えている。一方、一部利用者による器具の長時間占有が課題として指摘されており、対応を検討したい。
- ・渡辺委員：利用者の増加に伴う混雑状況や、設備・器具の維持管理、故障などについて、指定管理者から報告や意見を受けているのか。
- ・生涯学習課長：土曜日や日曜日の朝には、ランニングマシンが全て使用されることがある。また、利用頻度が高いため、ランニングマシンをはじめとする器具に故障も見られる。10 万円以下の備品は指定管理者が対応し、それを超えるものなどは町と指定管理者が協議して対応している。
- ・委員長：他にないか。
- ・委員長：以上で、「資料 1－2（社会体育施設等）」の評価結果の調査を終了し、調査事項「ア」の調査を終了する。

- ・委員長：本日の調査事項について自由討議を行う。調査事項「ア」について、意見はないか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：調査事項「ア」の自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について
正副一任

(2) その他

- ・委員長：「その他」で各委員からないか？
- ・（なし）
- ・委員長：議長からないか？
- ・（なし）
- ・委員長：事務局からないか？
- ・（なし）

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
令和8年9月16日 厚生文教常任委員会委員長 立川美穂								